

コンピュータ概論 A/B

-- 総まとめ/模擬試験 --

数学科 栗野 俊一

2012/07/10 コンピュータ概

伝言

私語は慎むように !!

□ 色々なお知らせについて

- 栗野の Web Page に注意する事

<http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino>

□ 教室に入ったら

- 直に Note-PC の電源を入れておく

- ▶ Network にも接続する

- skype を起動する

- ▶ 「日大理工数学2012コンピュータ概論」を読む

- ウェブブラウザを起動する

- ▶ 本日の資料に目を通す

- ▶ 「良く読ん」で *理解した* 上で作業をする事 (自分勝手に判断しない)

今後の予定

□ 次回 (2012/07/17) : 講義最終日

○ 試験時間は、85 分

▶ 試験開始 30 分後に出席を取ります

○ 時間内に結果を CST Portal に提出してください

▶ ギリギリに提出しようとするサーバーが対応できない可能性あり

□ 試験の形式

○ ファイルに入った問題をダウンロード

▶ ファイル内に個々に問題が入っているので、それを見て解く

▶ 問題は、各自異なる(ので答も異なる)

▶ 回答は、ファイルの形で、ポータルに upload する

○ 持ち込み

▶ Note-PC を含め、なんでも可 (もう一台の PC / 本 / ノート..)

○ 禁止事項

▶ 音を出しては駄目 (会話不可 / 携帯電話不可 / チャット可) / 物の貸し借りは駄目

□ 質問

○ 問題が「変」と思ったら、手を挙げてください

□ 本日(2012/07/10)の予定

○ 模擬テスト

前回の復習

□ 前回の内容

○ **verbatim** : 既に整形済のテキストをそのまま表示したい場合に利用する

▶ 行の場合 : `\begin{verbatim} ~ \end{verbatim}`

▶ 語句の場合 : `\verb|~|` (「|」は「~」に含まれない任意の文字にする)

○ **木構造**: 典型的な「構造」の一つ

▶ 定義 1 : 単独のノードは木で、根(**root**)はそのノード(最も単純な木)

▶ 定義 2 : 複数の木の根と新しい単独のノードを結んだものは木で、根(**root**)はそのノード (再帰的定義)

▶ 定義 3 : 上記の定義 1, 2 のみからできる物が木(例外の排除)

▶ 根(**root**): 親のないノード(木に必ず一つだけある)/葉: 子のないノード/枝(その他)

○ **ファイルシステム**: ファイルを管理する仕組み(ファイルの命名規則など)

▶ Windows のファイルシステムは木構造を取り入れている (ドライブがあるので、完全な木ではない)

▶ パス名: ディスク内のファイルを一意に識別するための識別子

▶ 絶対パス: 根からそのファイルまでの経路(パス)を「\」で区切って繋げたもの

▶ 相対パス: 現在の位置からそのファイルまでの経路

本日の課題 (2012/07/10)

□ 前回 (2012/07/03) の課題

○ 次のファイルをサクラエディタで作成し、CST Portal から提出

▶ ファイル名 : 20120710-QQQQ.tex (QQQQ は学生番号)

▶ 表題 : 2012/06/26 のレポートが入ったディレクトリのリスト

▶ 内容 : 2012/06/26 のレポートが入ったディレクトリのリストを TeX で出力

▶ 形式 : テキストファイル (sample-20120710.tex 参照)

□ 今回 (2012/07/10) の課題

○ 模擬試験の結果を提出する